

事業説明シート 1 短期大学教育設備等整備事業(継続)

部局課所 公立美術工芸短期大学美短総務課
 総合計画 4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる充実のまち
 2節 高等教育の充実
 1項 美術工芸短期大学の充実
重点テーマ 6 秋田の将来を担う人づくり

【 事業の目的】 技術革新と情報化が進む社会に対応したコンピュータ関連機器の整備と工芸およびデザイン関連機械・設備整備による教育施設・設備の充実を図る。 附属図書館の蔵書数を平成22年度までに4万冊を目標に整備する。	【 事業の対象】 美術工芸短期大学
【 全体事業概要】 ・美術・デザインの分野でもコンピュータは欠かせないものとなっており、機器類およびソフトウェアのバージョンアップに計画的に対応することで、教育レベルの維持に心がける。 ・工芸関連機械・設備についても計画的に整備を図る。 ・附属図書館の蔵書数を計画的に整備（平成22年までに4万冊）し、美術・デザイン系の大学にふさわしい専門図書を中心とした図書の充実を図る。	【 新年度事業概要】 ・附属図書館資料整備 ・教育用ソフトウェア（アップグレード） After Effects、Premiere ・教育用ソフトウェア新規購入 Photoshop Element、Shade Personal R5、Illustrator 9J等 ・教育用機械・設備点検修理 鍛造炉・製図機械 ・教育用備品新規購入 ガラスグローリーホール、製図保管庫等
【 備考】 平成14年度予定利率 0.01%（運用益 約21万）	【 国県施策名】 【 国補助率】 【 県補助率】 【 起債充当率】

事業評価シート 1 短期大学教育設備等整備事業(継続)

【 事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
○ 無 ● 有	一般財源の投入
【 民間事業との競合】	
● 無 ○ 有	
【 住民ニーズ、行政需要の動向】	
● 増加傾向 ○ 不変 ○ 減少傾向	ソフトウェアの陳腐化や機械の老朽化が進み、情報化社会に対応できなくなる。 学生、教員からの要望が多い。
【 市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	ソフトウェアの陳腐化や機械の老朽化が進み、情報化社会に対応できなくなるため、計画的に整備を進めていく必要がある。
【 事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	
【 事業成果(アウトカム)指標】	
指標	志願倍率
選定理由	魅力ある教育環境を維持することにより、安定した志願者数の確保を図ることができるとともに、有能な学生の確保を図ることができる。

計算・推計方法	志願倍率の実績による				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標		1.5倍	1.6倍	1.6倍	1.6倍
実績	1.41				

【 事業成果指標・備考】 図書資料整備に関しては、目標冊数(4 万冊)への到達度を指標とする。 14年度：68% 15年度：72% 16年度：76% 17年度：80%					
---	--	--	--	--	--

14美短 1

事業説明シート 2 学内情報システム更新事業(新規)

部局課所 公立美術工芸短期大学美短総務課
 総合計画 4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる充実のまち
 2節 高等教育の充実
 1項 美術工芸短期大学の充実
重点テーマ 6 秋田の将来を担う人づくり

【 事業の目的】 5年リースで学内情報システムを更新し、セキュリティの確保、システムの安定運用、高度で高速な情報通信技術への対応を図る 学内情報システムは、次のサブシステムからなる。 1．学務システム：学生の入試・成績情報管理等を行う 2．図書館情報システム：図書の検索・貸出、各大学図書館等が所蔵する図書情報データベース（学術情報システム）を利用する 3．教育研究支援システム：各教員が、配付されたパソコンで1．2のシステムを利用する他、インターネットや電子メールなどで教育・研究情報を受発信する	【 事業の対象】 美術工芸短期大学
【 全体事業概要】 現在のシステムは導入から7年目を迎え、次のような問題がある。 1．情報セキュリティが脆弱で、過去に不正侵入による被害を受けた経緯があり、今後も受ける恐れがある 2．ハード・ソフト両面の老朽化により、各システムをの安定運用確保が難しい 3．平成15年度から、学術情報システムがインターネットによる利用しか出来なくなるが、現在の本学システムはこれに対応していないなど、高度で高速な情報通信技術への対応の遅れによる教育の情報化推進の後退 上記の問題を解消するため、学内情報システムを更新し、5年リースとする	【 新年度事業概要】 1．各種高性能サーバ、高速ネットワークの整備、学外からの不正侵入防止のためのFirewallサーバの設置。 2．学務システムのサーバおよび端末の更新による安定運用と作業効率向上を図る。 3．図書館システムのサーバおよび検索端末の更新。
【 備考】	【 国県施策名】 【 国補助率】 【 県補助率】 【 起債充当率】

事業評価シート 2 学内情報システム更新事業(新規)

【 事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】	
☐ 無 ☒ 有	現システムは買い取りであるが、コンピュータシステムの変革が激しい現状に対応するため、今後はリース契約とし定期的に更新をおこなう。
【 民間事業との競合】	
☒ 無 ☐ 有	
【 住民ニーズ、行政需要の動向】	
☒ 増加傾向 ☐ 不変 ☐ 減少傾向	過去に不正侵入による被害を受けた経緯があり、今後も受ける恐れがある。 ハード・ソフト両面の老朽化により、各システムの安定運用確保が難しい。 現状システムでは、平成15年から学術情報システム(国内の大学等図書館情報のデータベース)が利用できなくなる。 教員からの要望も多い。

【 市が今行う必要性】	
○ 無 ● 有	過去に不正侵入による被害を受けた経緯があり、今後も受ける恐れがある。また、ハード・ソフト両面の老朽化により、各システムをの安定運用確保が難しくなっており、システムの更新により、セキュリティ確保と、システムの安定運用を図る必要がある。 学術情報システム(国内の大学等図書館情報のデータベース)に対応したシステムの導入が必要である。

【 事業外部の条件整備(関連事業等)】	
● 問題無 ○ 要配慮	

【 事業成果(アウトカム)指標】					
指標	充足度				
選定理由	充足度がアンケート結果に反映される。必要とされるシステム性能に対する充足度を高めれば、教育研究成果も上がる。				
計算・推計方法	教員、事務局職員にアンケートを実施し、作業効率、作業精度、教育研究成果、セキュリティ確保を5段階で評価				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標		5	5	5	5
実績					

【 事業成果指標・備考】
数値化が困難なため、5段階による評価とした。

14美短 2

事業説明シート 3 実習棟改修事業(新規)

部局課所 公立美術工芸短期大学美短総務課
 総合計画 4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる充実のまち
 2節 高等教育の充実
 1項 美術工芸短期大学の充実
 重点テーマ 6 秋田の将来を担う人づくり

【 事業の目的】 実習棟の寒さ、照度不足、換気の悪さ、防災設備不足等を解消し、学生の健康管理と安全確保を図るとともに、スペースのより効率的使用により、教育効果の向上を図る。	【 事業の対象】 秋田公立美術工芸短期大学
【 全体事業概要】 実習棟3棟に対し、天井、外部建具の設置、内外装改修、暖房設備、換気設備、防災設備、拡声放送設備の工事を行う。	【 新年度事業概要】
【 備考】	【 国県施策名】 【 国補助率】 【 県補助率】 【 起債充当率】

事業評価シート 3 実習棟改修事業(新規)

【 事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】					
● 無 ○ 有					
【 民間事業との競合】					
● 無 ○ 有					
【 住民ニーズ、行政需要の動向】					
● 増加傾向 ○ 不変 ○ 減少傾向 実習棟の改修に対し、学生、教員からの要望が多い。					
【 市が今行う必要性】					
○ 無 ● 有 学生の教育環境を改善し、教育効果の向上を図るため改修の必要がある。					
【 事業外部の条件整備(関連事業等)】					
● 問題無 ○ 要配慮					
【 事業成果(アウトカム)指標】					
指標	満足度				
選定理由	満足度がアンケート結果に反映される。満足度が高まれば教育効果も上がる。				
計算・推計方法	教員・学生に対しアンケートを実施し、室温、照度、塵埃、騒音に関する満足度を5段階で調査する。				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標		5	5	5	5
実績					
【 事業成果指標・備考】					